

12月

ジャンル	配本日	ISBN 9784591	書名	著者	予価	判型	頁数	著者紹介	内容紹介
文芸	12月11日	179901	今日のかたすみ	囿上佐都	1700	四六並製	272	『街に躍ねる』で第11回ポプラ社小説新人賞特別賞を受賞しデビュー。本作が第二作目となる。	塾講師として働いている遙は、友人とのルームシェアを解消して気落ちしていた。そこに同僚で恋人の百ちゃんがやって来る。同棲を始めるふたりだが、暮らしの中で明らかになる価値観の違いを原因に、少しずつ、しかし確実にすれ違っていき…？好きなのに分かり合えないカップルや、距離感のある父と娘、アパートの隣人同士。誰もが記憶の片隅に持つ、人と生きる日々のもどかしさや愛おしさを、優しく掬い上げた傑作短編集。

11月

ジャンル	配本日	ISBN 9784591	書名	著者	予価	判型	頁数	著者紹介	内容紹介
文芸	11月6日	179802	夜明けのはざま	町田そのこ	1700	四六上製	272	1980年生まれ。2016年、「カメルーンの青い魚」で「女による女のためのR18文字賞」大賞を受賞。翌年、同作を含むデビュー作『夜空に泳ぐチョコレートグラミー』を刊行。2021年、『52ヘルツのクジラたち』で本屋大賞を受賞。『星を掬う』、『宙ごはん』で3年連続本屋大賞ノミネート。『52ヘルツのクジラたち』は映画化が決定。2024年3月公開予定。	『52ヘルツのクジラたち』で本屋大賞を受賞！ 3年連続、本屋大賞ノミネート！！自分の情けなさに、歯噛みしたことのない人間なんて、いない。死を見つめることで、「自分らしさ」と「生」への葛藤と希望を力強く描き出した、著者渾身の感動作。
文芸	11月6日	179314	京都東山邸の小鳥遊先生	望月麻衣	1750	四六並製	384	2013年にエブリスタ主催第2回電子書籍大賞を受賞し、作家デビュー。京都を舞台にした「わが家は祇園の拝み屋さん」シリーズ、「京都寺町三条のホームズ」シリーズ、「満月珈琲店の星詠み」シリーズなどで多くの読者の支持を得ている。2016年「京都寺町三条のホームズ」で第4回京都本大賞を受賞。本作が文芸初単行本となる。京都府在住。	京都東山の住宅街に佇む洋館「東山邸」には、年の離れた小鳥遊姉妹——葉月と美沙が暮らす。葉月は人気脚本家だったが、批判を受け、思うように書けないでいた。ある夜、祇園の小料理屋で駆け出し俳優の鈴木英輔の出演ドラマを酷評していると、お忍びで来ていた英輔本人と遭遇。「あなたのヒギンズ教授になってあげる」と啖呵をきった葉月は英輔と京都を舞台に奔走するが事件が起きて…？ラストは胸が一杯になり涙する傑作長編！
文芸	11月13日	179710	苺飴には毒がある	砂村 かいり	1700	四六並製	304	2020年、第5回カクヨムWeb小説コンテスト恋愛部門“特別賞”を『炭酸水と犬』『アパートたまゆら』で二作同時受賞し、翌年デビュー。最新作に『黒蝶貝のピアス』（東京創元社）がある。	高校二年生の寿美子には、れいちゃんという幼なじみの友人がいる。通学を共にするふたりだが、過去に複雑な事情を持つれいちゃんは、可憐な容姿とは裏腹に他人の容姿を貶めたり、陰口を撒き散らすことでコミュニケーションをとる少女だった。そんな態度に違和感を覚え始める寿美子だが、やがて彼女の吐く毒は自分自身にも及んでいるのではないかと思ひ至り…。少女同士の複雑な関係に切り込んだ”青春”小説。
趣味実用	11月13日	179307	うまくてダメな写真とヘタだけどいい写真	幡野広志・著	1500	四六並製	272	1983年、東京生まれ。2010年から広告写真家・高崎勉氏に師事。「海上遺跡」で「NikonJuna21」を受賞。2012年、エブソンフォトグランプリ入賞。2017年多発性骨髄腫を発病し、現在に至る。著書に『ぼくが子どものころ、ほしかった親になる。』（PHP研究所）、『僕が選べなかったことを選びなおすために』（ポプラ社）、『なんでほくに聞くんだろう』（幻冬舎）、『ラブレター』（ネコノス）など多数。	ほとんどの人に写真の才能がある。でも、ほとんどの人が写真を誤解している——即売売の大人気ワークショップをベースに、幡野広志ができれば触れなくなかった「写真の話」。「いい写真」と「うまい写真」はちがう。「だめな写真」と「へたな写真」も同じ意味じゃない。うまくてだめな写真もあるし、ヘタだけどいい写真もある。「いい写真」を知り、「いい写真」を撮ろう。初心者～中・上級者まで、写真の価値観が変わる必読の1冊。
エッセイ	11月20日	177884	赤面	上田晋也	1500	四六並製	272	1970年熊本生まれ。ナチュラルエイト所属。お笑いコンビ・くりいむしちゅーの突っ込み担当。バラエティ番組にとどまらず、情報番組やスポーツ番組などマルチに活躍中。	くりいむしちゅー上田晋也の20代の頃の書き下ろしエッセイ！ 一番、夢、希望、自信に満ち溢れていた10年間。「恥ずかしいからこそ、勢い、エネルギー、パワーがあるし、まぶしく、羨ましく見えるのだ。どんどん恥ずかしい思いをして赤面したらいい。別に先輩ツラをしてるつもりもない。かく言う私も、未だに赤面するようなことばかりだから」（本文「後書」より）
実用	11月6日	179697	あなたが独りで倒れて困ること50	太田垣章子 (OAG司法書士 法人 代表)	1600	四六並製	224	OAG司法書士法人代表司法書士。株式会社OAGライフサポート代表取締役。2021年からは死後事務や任意後見など高齢者をサポートする株式会社OAGライフサポートの代表取締役にも就任。著書に『家賃滞納という貧困』『老後に住める家がない！』（すべてポプラ社）等	「人生100年時代」で長生き“してしまう”ことの対策が必要な時代に。亡くなったあとの膨大な手続き・処理も含めて、何をどう準備すればいいのか？ 司法書士として2600件以上の賃貸トラブルを解決するなかで、数々の「おひとりさま」の問題に対応し、死後事務や任意後見など高齢者をサポートしてきた著者が、現在、そして将来の解決すべきポイントとその方法を指南する。